



JAL不当解雇撤回ニュース

No530 号 2017.03.25
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekai.com>



2月28日、寒風の中天王洲アイル JAL 本社前に 160 本の幟がはためきました。春闘の真ただ中にもかかわらず、700 名の方がこの本社包囲行動に参加してくださいました。7 年目に入った JAL 争議を「1 日でも早く解決する」、この熱い思いから多くの皆さんが駆けつけてくれました。2 階から見下ろす JAL の管理職はこの大行動をどう思うか、どのように上司に伝えているのでしょうか？ 駆けつけてくれた人の多くが JAL 利用者です。この人たちの思い、そして決して諦めないという決意を語る原告の思いを、日航は真摯に受け止め、解決交渉のテーブルに着くべきです。争議状態が続くなら、JAL の企業価値は下がります。経営から見ても「百害あって一利無し」です。

★- 支援共闘会議 金澤共同代表

JAL は不当労働行為裁の謝罪ではなく責任を取れ。交渉に応じなければ不当労働行為として闘う。不当労働行為のやり得は許さない。株主総会にも参加し、解決を迫ろう。



りのモチベーションが生活を守り企業守り、国を良くしていく。憲法違反をする JAL では安全は守れない。

★- 乗員組合 青木書記長

正常な労使関係で 200 名ものパイロットが退職するはずがない。この問題が解決しなければ社員の心は会社に向かない。3 労組統一要求が JAL の明るい未来を築くものと確信している。

★- 全労連 野村副議長

解雇者を戻したいから JAL を利用している。労働者をないがしろにする企業に将来はない。JAL に解決の決断を迫るために、一層運動を広げ、全国の空港で宣伝行動を！

★- CCU 古川委員長

会社がどのように解決しようとしているのか、そのイメージを聞きたい。勤務改悪で体調不良者が続出している。保安要員の役割を果たせる職場環境にはない。何かあってからでは遅い。JAL の健全な発展のために争議の早期解決が必要だ。

★- 東京清掃労組 中里副委員長

JAL の闘いは日本の労働者の闘いだ。労働者一人ひと



山口乗員団長

今や JAL の拠り所は解雇裁判の判決のみ。違法でなければ何をやっても良いのか。不当労働行為と解雇問題の判決は“別物”という主張は、社会的には通用しない。現状を直視し、この争議を解決してこそ安全問題の解決にもつながる。

内田客室乗務員団長

ILO 高官は「なぜ JAL は統一要求に応じないのか考えられない」と言っていた。日本政府にとっても恥ずかしいこと。人権侵害をする企業は、国際的にも信用されない。JAL はこの先発展できるのか、春闘はその試金石となる。私たちは JAL のことを思い闘っている。決して諦めない。